

株式会社バイテックホールディングス



平成31年3月期 第2四半期
決算説明資料

【決算のポイント】

(単位:百万円)

売上高	調達事業が伸長した結果、前年同期比4.7%増
営業利益	デバイス事業の収益改善等により、前年同期比13%増
ROE	減益により前年同期比では低下したが10%以上を維持

	2018年3月期 第2四半期	2019年3月期 第2四半期	対前年同期比 増減率	2019年3月期 通期目標
売上高	89,384	93,557	4.7%	210,000
売上総利益	5,977	6,183	3.4%	—
営業利益	1,950	2,203	13.0%	4,100
(営業利益率)	(2.2%)	(2.4%)	—	(2.0%)
経常利益	1,713	1,429	▲16.6%	3,000
親会社株主に帰属する 四半期利益	1,212	987	▲18.6%	2,000
1株あたり四半期利益 (EPS)	85.87円	69.32円	—	140.50円
自己資本四半期利益率 (ROE)	15.5%	12.2%	—	—

※PL換算レート(円/米ドル):2018/3期2Q 111.42円、2019/3期2Q 110.07円

(参考)2019/3期 110円 を想定

貸借対照表の推移

【ポイント】

(単位:百万円)

資産	現預金が32億、棚卸資産が37億増加、売上債権が11億減少
負債	調達事業拡大に伴う資金調達により借入金が増加
純資産	利益剰余金が4億、非支配株主持分が19億増加

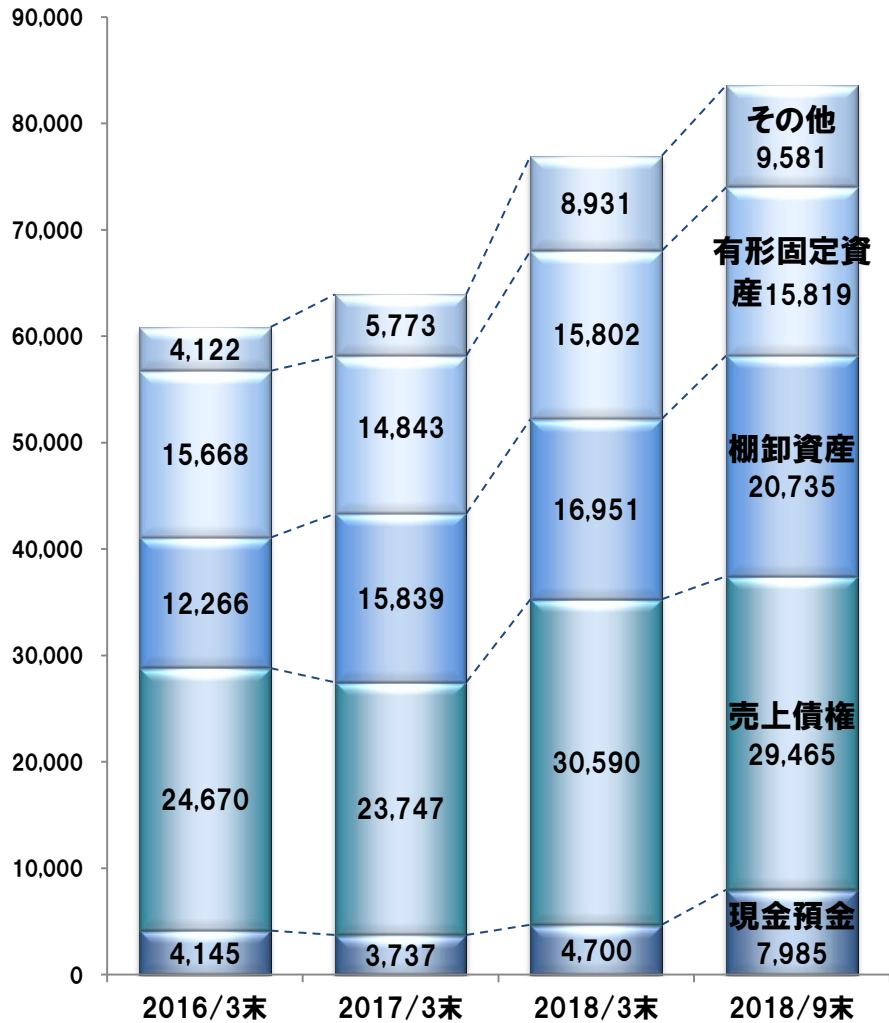
	2016年3月末	2017年3月末	2018年3月末	2018年9月末	対前期増減額
流動資産	42,173	45,435	55,532	61,707	6,175
固定資産	18,698	18,503	21,441	21,878	437
資産合計	60,871	63,939	76,974	83,585	6,611
流動負債	33,684	35,841	45,031	46,807	1,776
固定負債	13,821	12,965	15,635	17,884	2,249
負債合計	47,505	48,807	60,666	64,691	4,025
純資産合計	13,365	15,131	16,307	18,893	2,586
負債純資産合計	60,871	63,939	76,974	83,585	6,611
自己資本比率	21.8%	23.0%	20.6%	19.8%	—

※BS換算レート(円/米ドル):2018/3月末 106.24円、2018/9月末 113.57円

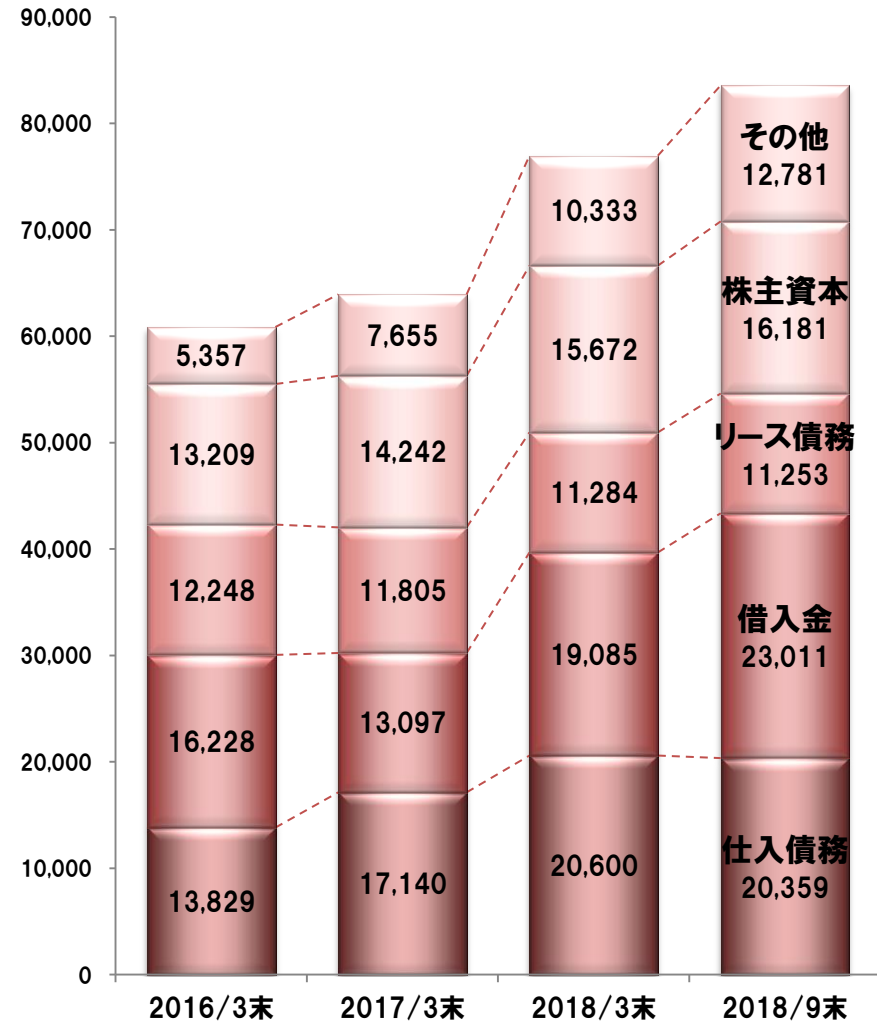
貸借対照表(主要科目)の推移

(単位:百万円)

資産



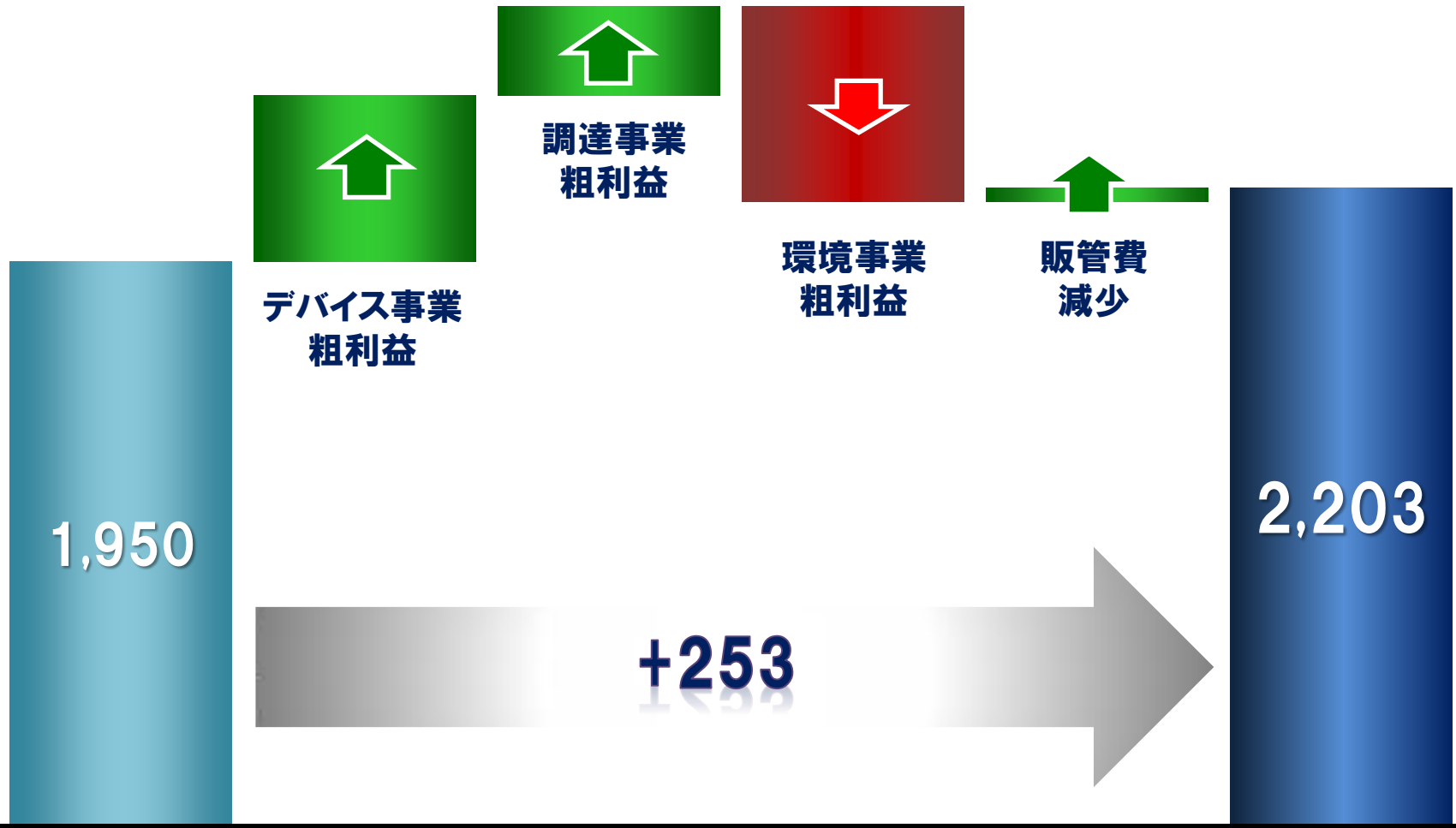
負債・純資産



※借入金、リース債務は短期、長期の合計

【営業利益】

(単位:百万円)



2018/3期2Q

2019/3期2Q

事業セグメント別情報

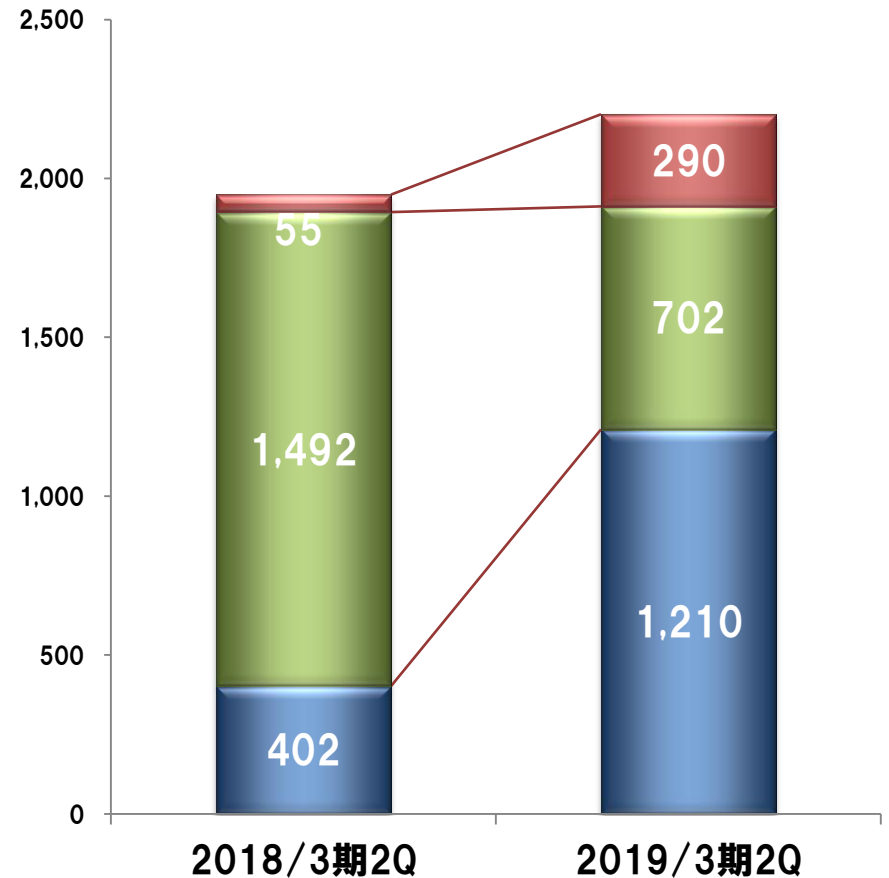
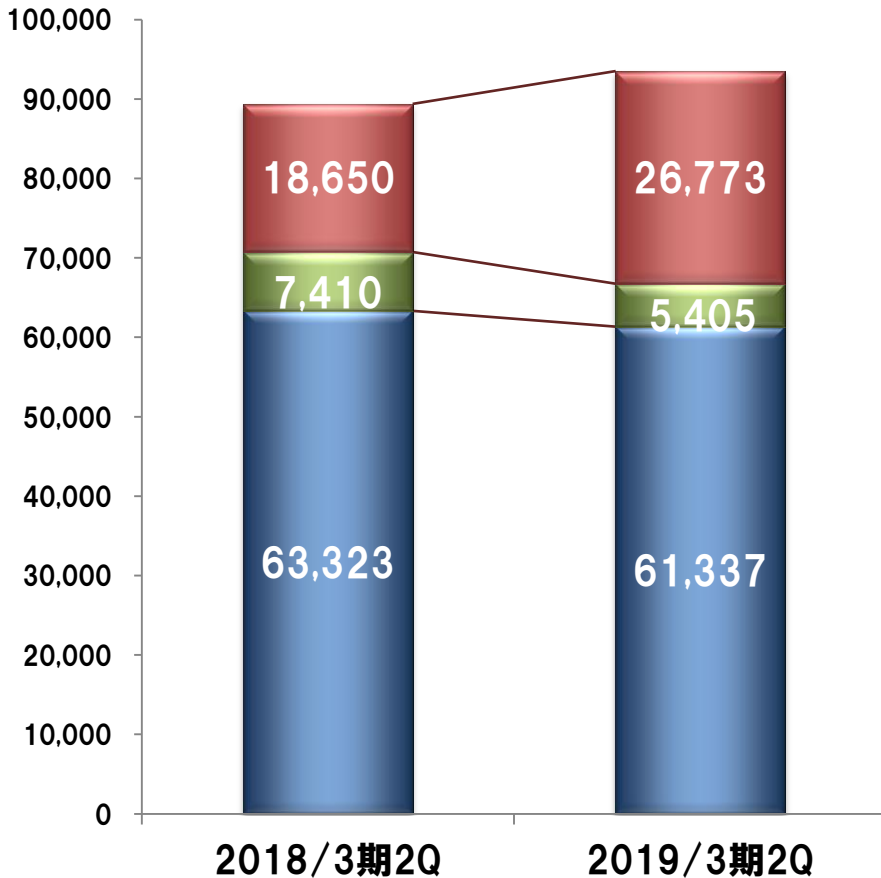
売上高

営業利益

(単位:百万円)

■ デバイス ■ 環境 ■ 調達

■ デバイス ■ 環境 ■ 調達



デバイス :スマートフォン向けメモリ拡大、イメージセンサー微減
環境 :売電小売、太陽光発電事業における売上は堅調
 前年同期好調のパネル販売が減少
調達 :パナソニックグループとの協業が拡大

デバイス事業では、収益性の改善及び構造改革等による販管費の圧縮に努めた結果、営業利益は前年同期比301.0%と大きく改善
 環境事業では、前年同期好調のパネル販売減少により減益

通期見通しに変更はございません

単位:億円

	2Q実績	年間見通し	2Q進捗率 (対年間)
売上高	935.5	2,100	44.5%
営業利益	22.0	41.0	53.6%

売上・利益の牽引要因

車載向け半導体の拡大

調達事業の大幅伸長

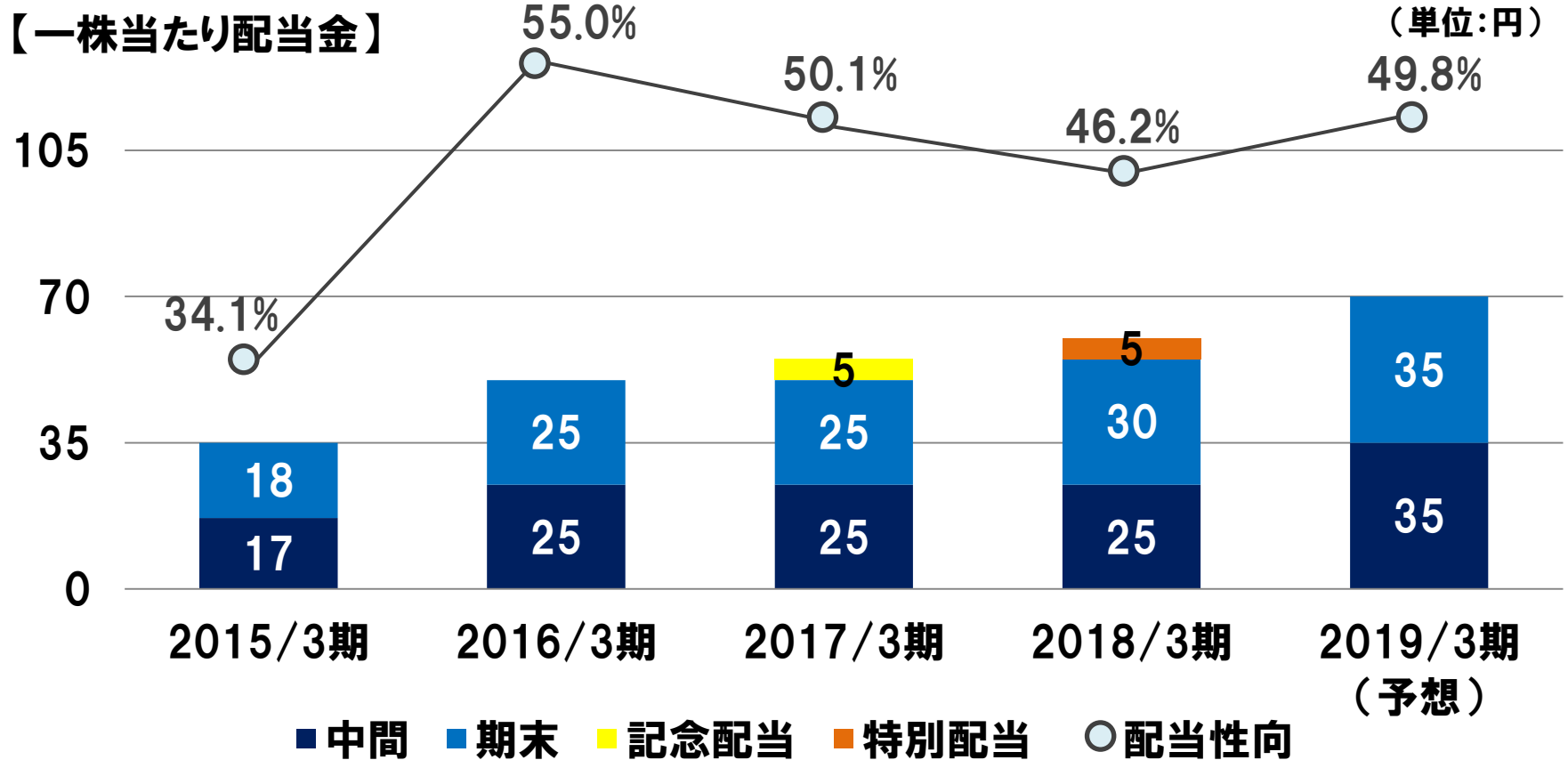
発電所の新設

植物工場事業の進展

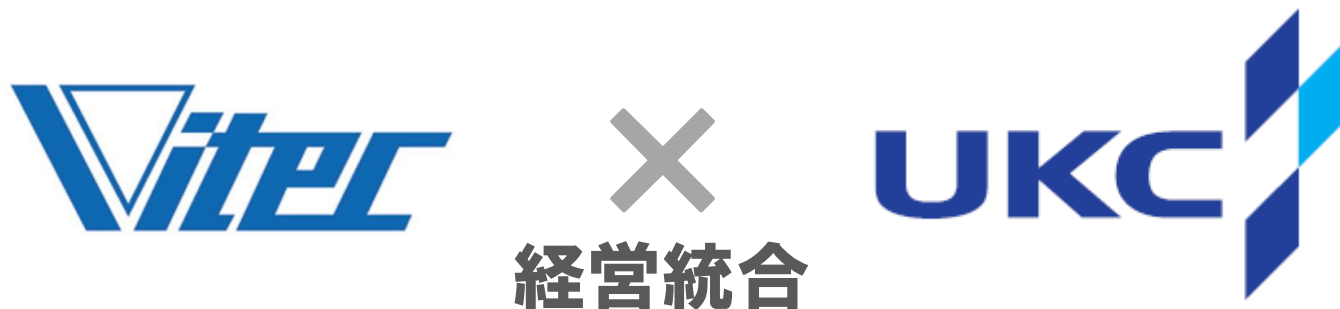
パートナーとの共創

【配当に関する基本的方針】

- 株主の皆様への積極的かつ安定的な利益還元を経営の重要課題と位置づけています
- 連結配当性向50%を目標としています



トピックス



株式会社レスターホールディングス

2019.4.1スタート

国内エレクトロニクス商社トップクラスの売上規模

ラインナップ・販路の拡充

高付加価値ビジネスの拡大

業務効率化による生産性向上

強固な経営基盤の確立

独自ビジネスの創出

プレスリリースは[こちら](#)



大阪大学

大学院医学系研究科

『認知症プレジジョン医療開発学寄附講座』

認知症の基礎研究

血液バイオマーカーやプレジジョン医療の研究



医療機器分野への新規参入

バイテックホールディングス プレスリリースは[こちら](#)
大阪大学大学院医学系研究科プレスリリースは[こちら](#)

発電事業の多様な展開

小型風力発電の敷地内に追尾型太陽光発電併設



小型風力発電

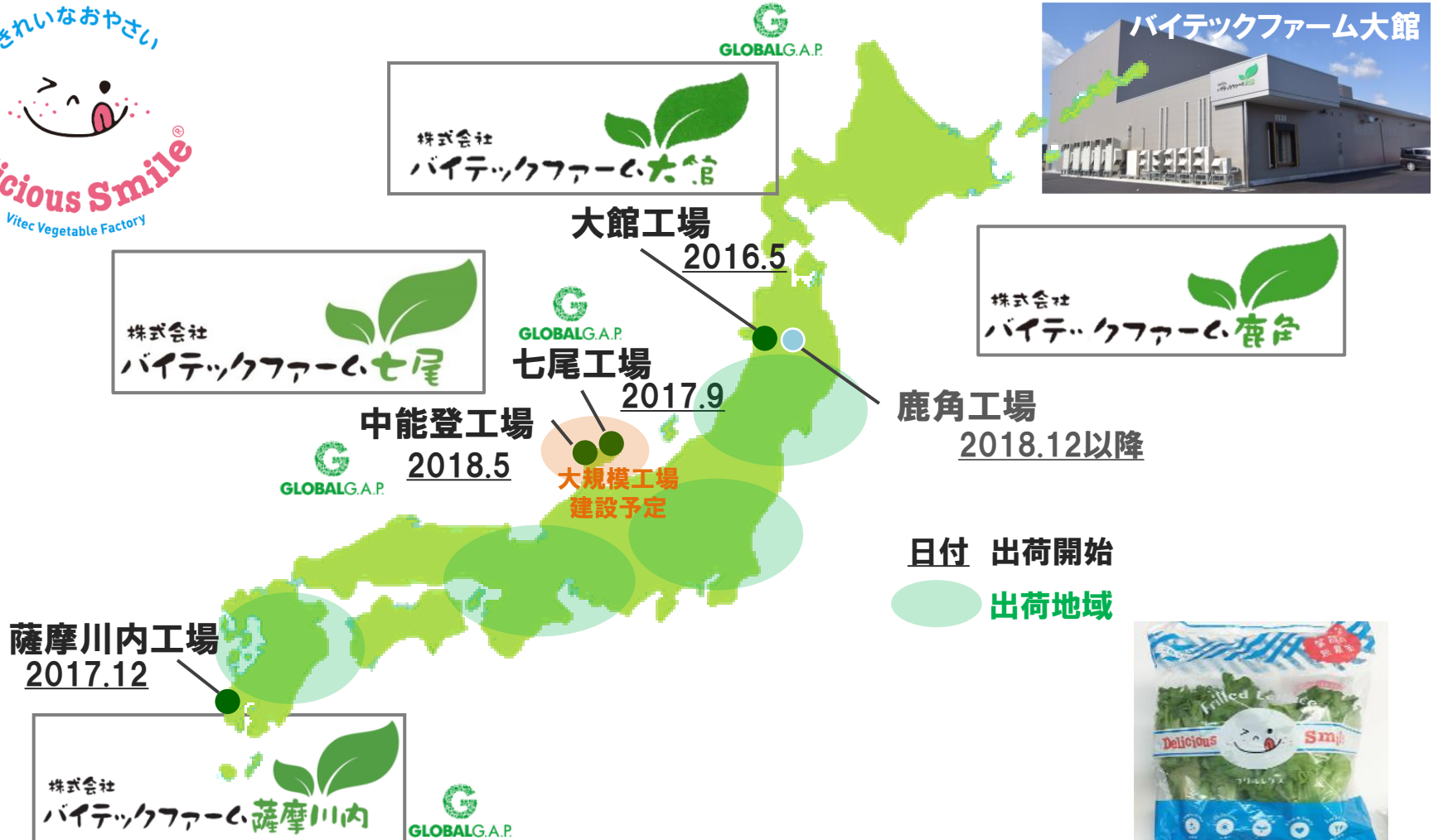


追尾式太陽光発電

2018年10月より工事開始

発電量の増加・収益性の向上

本年度中に第5工場(鹿角)稼働予定



日付 出荷開始
 出荷地域



既に取得済みの大館工場、七尾工場に加え、
新たに中能登工場、薩摩川内工場で取得(4工場)



バイテックファーム薩摩川内工場



バイテックファーム七尾中能登工場



GLOBALG.A.P.認証は、食品安全、労働環境、環境保全に配慮した
「持続的な生産活動」を実践する優良企業に与えられる世界共通ブランドです

 **第2回デリシャススマイル杯**
TOWO WRESTLING ASSOCIATION
2018 女子レスリング
Delicious Smile



東日本大学女子リーグ戦

10.28[sun] 10:00~ 宝仙学園中学・高等学校体育館
東京都中野区中央2-28-3

出場予定校
青山学院大学 専修大学 日本大学 法政大学
国士舘大学 東洋大学 日本体育大学 早稲田大学

主催：株式会社バイテックベジタブルファクトリー 後援：日刊スポーツ新聞社
協賛：株式会社バイテックホールディングス 協力：学校法人宝仙学園
主管：一般社団法人東京都レスリング協会



10月28日(日)、
バイテックベジタブルファクトリーが
主催する、東日本の大学を対象とした
女子レスリング団体戦

「第2回デリシャススマイル杯
東日本大学女子リーグ戦」

が開催されました。

2018年3月期	5月	台湾WPG Holdingsとの資本提携(第三者割当)
	8月	六戸ソーラーパーク(特別高圧)運転開始 第2号植物工場(石川県七尾市)出荷式典
	10月	JIG-SAWグループとインダストリアルIoT分野で業務提携 当社グループ冠スポンサーによるデリシャススマイル杯開催のお知らせ
	1月	小型風力発電 1号機稼働(北海道天塩郡遠別町) 営農型太陽光発電所第1号機運転開始(バイテック登米太陽光発電所) 植物工場出荷式典開催(鹿児島県 薩摩川内工場)のお知らせ
	2月	特別配当の実施 新中期経営計画 植物工場事業の大展開
	2019年3月期	6月
7月		ASEANエリアでのサービス供給体制の強化に向け資本業務提携を締結 植物工場における国際認証GLOBALG.A.P取得のお知らせ
8月		植物工場出荷式典開催(石川県 中能登工場)のお知らせ 配当方針の変更及び配当予想の修正
9月		大阪大学大学院医学系研究科『認知症プレジジョン医療開発学寄附講座』開設に向けた寄附の実施 UKCホールディングスとの経営統合に関するお知らせ
11月		国内最大の豪華客船「飛鳥II」乗船客への記念品として バイテックファーム七尾のレタスが採用
		植物工場2工場における国際認証GLOBALG.A.P取得のお知らせ

◇ 将来の見通しに関する注意事項

このプレゼンテーションに掲載されている当社の現在の計画、見通し、戦略は、将来の業績に関する見通しであり、これらは現在入手可能な情報から得られた当社の経営者の判断に基づいております。

実際の業績は、様々な外部要因、内部要因の変化により、これらの業績見通しとは異なる結果となる可能性があります。

実際の業績に影響を与えうる重要な要素には、世界・日本経済の動向、急激な為替相場の変動ならびに戦争・テロ活動、災害や伝染病の蔓延等があります。